



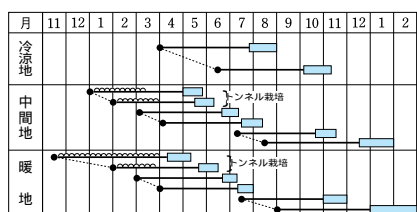
ニンジンは健康野菜として、その需要は一気に拡大しましたが、ここ数年は栽培面積が横這いから、微減の傾向にあります。また、輸入については、国内価格の上昇、下降に連動して増減する傾向にあります。月別にみると価格が比較的高い3月から6月にかけての輸入量が多くなっています。

産地の傾向としては、機械化や分業化が進み、ハーベスターや選別機の導入で、規模の拡大、出荷の前進化がみられます。これら機械化や、選別の省力化、多収によるコスト減

今月の表紙
6月

ニンジン
向陽二号

を進めていくためには、「向陽二号」の多収性、秀品率や揃いのよさがあるため重要視されています。産地間のリレー出荷を進め、品不足等による輸入拡大を防ぐためにも、生産性が安定し、揃いのよい高品質なニンジンの選択は更に重要度を増すでしょう。気象の変動にも生育の安定した「向陽二号」を中心として「陽州五寸」「勝陽五寸」などを上手に組み合わせ一層の良品・安定出荷を目指してください。



電話 06-777-01 タキイ交配 向陽二号
700粒 525円 10,000粒 4,830円(ペレット種子)

情報 ボックス

兵庫県稲美町のトマト作りでも大好評 !!

理想的な養水分栽培と省力化を図る タキイ点滴養液栽培肥料 ドリップファーム

(商標登録出願中)

兵庫県稲美町の畠房さん(46)は、本誌5月号で紹介した「タキイ点滴養液栽培肥料ドリップファーム」を用いた栽培システムでトマトの専作経営をされ効果を上げています。

畠さんは18歳の若さで経営を受け継がれ、幾多の困難を乗り越えて現在立派な農業経営を实践されています。トマトの高品質栽培として地域での評判は高く、農業試験場や農業改良普及所からも一目置かれる存在です。

現在の経営面積は、大型ハウス1500㎡(ドリップファームシステム導入)パイプハウス1000㎡(ドリップファームシステム導入)ロックウールハウス900㎡で、ご夫婦とお母さんの3人で経営されています。

連作の対策として平成元年からロックウール栽培を導入し、科学的な栽培

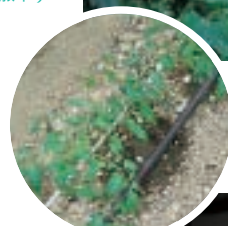
法を10年以上経験されていますが、この経験を生かし、平成11年からタキイのドリップファームシステムのモニターとして実際の栽培に取り組み、秀品率80%以上の高品質栽培を实践されました。

秀品率アップの理由は、灌水システムの世界的なトップメーカーであるトロ社のコントローラーが使いやすく、水と肥料の管理がきめ細かくでき、このドリップファームシステムで理想的な養水分管理を行えたからとのこと。

また、省力化が図られ生活時間にゆとりができたことにより、奥さんは地域の集まりに、ご主人は地域のボラン



↑ たわわになるトマト。これから熟して果実が色づき高品質なトマトとなる。



↑ 適切に養水分が与えられて健やかに育つトマトの苗。

右から畠房さん、お母さん、奥さん。



ティア活動ができるようになったと喜ばれています。ドリップファームがここでも役に立っているようです。

ドリップファームについてのご照会先 タキイ種苗資材部 佐藤 電話 075-365-0123
ハイボネックスジャパン 農芸プロダクトチーム 木下 電話 06-6458-9272